

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(11)特許出願公開番号

(43)公開日 平成7年(1995)8月1日

355 A

審査請求 未請求 請求項の数19 O L (全 10 頁)

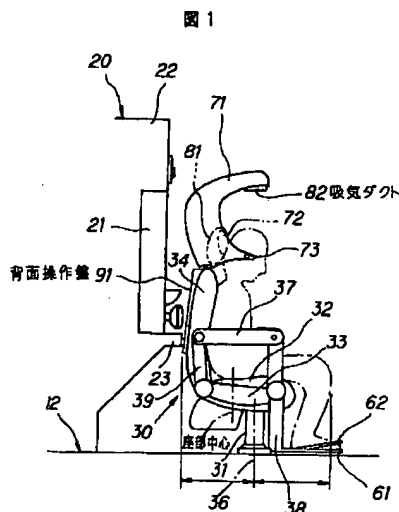
(74)代理人 弁理士 柏原 健次

(54) 【発明の名称】 ゲーム機用の椅子

(57) 【要約】

【目的】使い勝手をよくすることができる。

【構成】座部32の座部32面上で、着座者の膝と椅子30の背凭れ34との間の距離がほぼ半分になる位置に中心軸を配し、着座した際に、特に着座者の膝が出っ張ることがないようにしたので、着座者が待機位置にある座部32に着座し、中心軸回りに座部32を使用位置側へ回転すれば、着座者の膝が両隣りの遊技者や椅子30に当たることがなく、両隣りの遊技者に迷惑をかけないで、ゲーム機21に向かって着座することができる。



37:肘掛部
61:タラップ
62:フットスイッチ
71:フード体
72:スピーカ
73:マイク
81:ヘッドレスト

【特許請求の範囲】

【請求項1】ゲーム機を連設して成る遊技島が設置された遊技場におけるゲーム機用の椅子において、前記椅子の座部の座部面上で、着座者の膝と椅子の背凭れとの間の距離がほぼ半分になる位置に中心軸を配し、該中心軸を中心にして、着座者がゲーム機を背にして着座する待機位置とゲーム機に向かって着座する使用位置とに回転可能に前記座部を支持したことを特徴とするゲーム機用の椅子。

【請求項2】前記待機位置では背凭れを略垂直な姿勢にして、後方へ傾斜したリクライニング姿勢には傾動不能に支持したことを特徴とする請求項1記載のゲーム機用の椅子。

【請求項3】前記椅子は肘掛部を備え、該肘掛部にリクライニング用の操作レバーを設けたことを特徴とする請求項1または2記載のゲーム機用の椅子。

【請求項4】前記肘掛部に、背凭れをリクライニング姿勢から略垂直な姿勢に傾動し、かつ、前記使用位置から前記待機位置に回転可能にするための信号を発信可能なゲーム終了用のスイッチを設けたことを特徴とする請求項1、2または3記載のゲーム機用の椅子。

【請求項5】前記椅子に、紙幣識別機およびコイン選別機を設けたことを特徴とする請求項1、2、3または4記載のゲーム機用の椅子。

【請求項6】前記肘掛部に、パチンコ球その他のゲーム媒体用の発射ハンドルを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4または5記載のゲーム機用の椅子。

【請求項7】前記肘掛部に、ゲーム進行に支障が発生した際に係員を呼び出すための呼出しランプ付のスイッチを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5または6記載のゲーム機用の椅子。

【請求項8】前記肘掛部に、椅子を前記待機位置と前記使用位置とに回転するための回転スイッチを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6または7記載のゲーム機用の椅子。

【請求項9】前記肘掛部の前位置に灰皿を配設する一方、座部の後部下方に吸い殻収納部を設け、前記灰皿の底部と前記吸い殻収納部とを吸い殻挿通用のパイプ部材により連結し、前記吸い殻収納部の後壁に、該吸い殻収納部内と外部とを連通して、掃除機の吸引パイプを後方から差込み可能な差込口を開設したことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7または8記載のゲーム機用の椅子。

【請求項10】前記灰皿の底部を開閉可能なシャッタ部材により構成し、第1シャッタ部材を開じ方向へ付勢し、吸い殻をその付勢力に抗して第1シャッタ部材に押し付けた際に第1シャッタ部材が開いて吸い殻を落下可能にしたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8または9記載のゲーム機用の椅子。

【請求項11】前記吸い殻収納部に差込口を開閉可能な

第2シャッタ部材を設け、第2シャッタ部材を開じ方向へ付勢し、掃除機の吸引パイプをその付勢力に抗して差込んだ際に第2シャッタ部材が開き可能にしたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9または10記載のゲーム機用の椅子。

【請求項12】前記吸い殻収納部の差込口の周縁に、前記掃除機の吸引パイプを差込んだ際に該掃除機側のコネクタに接続して前記掃除機側に給電するための給電用のコネクタが設けられたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10または11記載のゲーム機用の椅子。

【請求項13】前記椅子にタラップを設け、該タラップに、パチンコ球その他のゲーム媒体を発射させるためのフットスイッチを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11または12記載のゲーム機用の椅子。

【請求項14】背凭れの上端部に、遊技者の頭部を上方から覆い可能なフード体を備え、該フード体に、音楽、スポーツおよび遊技場からのメッセージを聞くためのスピーカおよび遊技場の係員等と対話するためのマイクを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12または13記載のゲーム機用の椅子。

【請求項15】前記フード体に、遊技者を撮影するためのテレビカメラと、遊技場の係員等を映像するためのモニターとを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13または14記載のゲーム機用の椅子。

【請求項16】前記フード体内に、ヘッドレストを装着したことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14または15記載のゲーム機用の椅子。

【請求項17】前記フード体に使用者のタバコの煙を吸い取り可能にするための吸気ダクトを備えたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15または16記載のゲーム機用の椅子。

【請求項18】前記ヘッドレストの枕カバーとしてベーパーフィルタを用い、該ベーパーフィルタを枕カバーとして使用可能なカバー状態位置へ繰り出し可能かつ、該カバー状態位置から吸気ダクトのフィルタとして使用可能なフィルタ状態位置へ繰り込み可能に支持したことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16または17記載のゲーム機用の椅子。

【請求項19】前記背凭れの背面に遊技場の係員が遊技者の背後から操作可能な背面操作盤を装備し、該背面操作盤は灰皿満杯表示部、呼出しランプ消灯用スイッチ、スピーカ音量調整操作部、リクライニングコントロールスイッチ、ゲーム機および玉貸機のロック解除操作部を有

することを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17または18記載のゲーム機用の椅子。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ゲーム機を連設して成る遊技島が設置された遊技場におけるゲーム機用の椅子に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のゲーム機用の椅子としては、ゲーム機に対応して設置され、座部が回転フレームにより回転可能に支持されて成り、主に安定性の面から、座部平面上の中心部に回転中心が位置するようにしたもののが一般的である。また、稼動可能な台数を増やすために、隣接するゲーム機の間隔は可能な限り狭めて設置することが好ましく、両方の隣の椅子や遊技者との距離が短く、着座者はゲーム機を背にして着座し、その後両方の隣の椅子や遊技者に当たらないように気を配りながら、座部を回転し、ゲーム機に向かうようにしている。

【0003】さらに、遊技場内では、騒音がひどくや煙草の煙が充満している場合が多く、煙草の煙に関しては、例えば、パチンコ島や天井にエアフィルタを装着して、煙を濾過するようにしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のゲーム機用の椅子では、回転中心からの距離は、椅子の背凭れより、座部から前方へ出っ張る着座者の膝の方が長い傾向にあり、座部を回転する際に、着座者の膝が両隣の遊技者に当たりがちになり、両隣の遊技者に迷惑をかけないで着座したり立ったりするのが容易でなく、使い勝手がよくなく、エアフィルタでは煙草の煙を完全には除去することができないで、遊技者によっては騒音や煙草の煙を嫌って、快適に遊技することができないという問題点があった。本発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、座部を回転する際に、着座者の膝が両隣の遊技者に当たらないようにし、両隣の遊技者に迷惑をかけないで、使い勝手をよくし、また、快適に遊技することができるゲーム機用の椅子を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、1 ゲーム機(21)を連設して成る遊技島(20)が設置された遊技場(10)におけるゲーム機用の椅子において、前記椅子(30)の座部(32)の座部面上で、着座者の膝と椅子の背凭れ(34)との間の距離がほぼ半分になる位置に中心軸を配し、該中心軸を中心にして、着座者がゲーム機(11)を背にして着座する待機位置とゲーム機(21)に向かって着座する使用位置とに回転可能に前記座部(32)を支持したことを特徴とするゲーム機用

の椅子。2 前記待機位置では背凭れ(34)を略垂直な姿勢にして、後方へ傾斜したリクライニング姿勢には傾動不能に支持したことを特徴とする1項記載のゲーム機用の椅子。3 前記椅子は肘掛部(36)を備え、該肘掛部にリクライニング用の操作レバー(41)を設けたことを特徴とする1または2項記載のゲーム機用の椅子。

【0006】4 前記肘掛部(36)に、背凭れ(34)をリクライニング姿勢から略垂直な姿勢に傾動し、かつ、前記使用位置から前記待機位置に回転可能にするための信号を発信可能なゲーム終了用のスイッチ(43)を設けたことを特徴とする1、2または3項記載のゲーム機用の椅子。5 前記椅子に、紙幣識別機およびコイン選別機を設けたことを特徴とする1、2、3または4項記載のゲーム機用の椅子。6 前記肘掛部(36)に、パチンコ球その他のゲーム媒体用の発射ハンドル(44)を設けたことを特徴とする1、2、3、4または5項記載のゲーム機用の椅子。7 前記肘掛部(36)に、ゲーム進行に支障が発生した際に係員を呼び出すための呼出しランプ付のスイッチ(45)を設けたことを特徴とする1、2、3、4、5または6項記載のゲーム機用の椅子。8 前記肘掛部(36)に、椅子を前記待機位置と前記使用位置とに回転するための回転スイッチ(42)を設けたことを特徴とする1、2、3、4、5、6または7項記載のゲーム機用の椅子。9 前記肘掛部(36)の前位置に灰皿(51)を配設する一方、座部の後部下方に吸い殻収納部(52)を設け、前記灰皿(51)の底部と前記吸い殻収納部(52)とを吸い殻挿通用のパイプ部材(53)により連結し、前記吸い殻収納部(52)の後壁に、該吸い殻収納部(52)内と外部とを連通して、掃除機(57)の吸引パイプ(58)を後方から差込み可能な差込口(54)を開設したことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7または8項記載のゲーム機用の椅子。

【0007】10 前記灰皿(51)の底部を開閉可能なシャッタ部材により構成し、第1シャッタ部材(55)を開じ方向へ付勢し、吸い殻をその付勢力に抗して第1シャッタ部材(55)に押し付けた際に第1シャッタ部材(55)が開いて吸い殻を落下可能にしたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8または9項記載のゲーム機用の椅子。11 前記吸い殻収納部(52)に差込口(54)を開閉可能な第2シャッタ部材(56)を設け、第2シャッタ部材(56)を開じ方向へ付勢し、掃除機(57)の吸引パイプ(58)をその付勢力に抗して差込んだ際に第2シャッタ部材(56)が開き可能にしたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9または10項記載のゲーム機用の椅子。12 前記吸い殻収納部(52)の差込口(54)の周縁に、前記掃除機(57)の吸引パイプ(58)を差込んだ際に該掃除機(57)側のコネクタ(58a)

に接続して前記掃除機(57)側に給電するための給電用のコネクタが設けられたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10または11項記載のゲーム機用の椅子。13 前記椅子にタラップ(61)を設け、該タラップ(61)に、パチンコ球その他のゲーム媒体を発射するためのフットスイッチ(62)を設けたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11または12項記載のゲーム機用の椅子。14 背凭れ(34)の上端部に、遊技者の頭部を上方から覆い可能なフード体(71)を備え、該フード体(71)に、音楽、スポーツおよび遊技場からのメッセージを聞くためのスピーカ(72)および遊技場の係員等と対話するためのマイク(73)を設けたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12または13項記載のゲーム機用の椅子。

【0008】15 前記フード体(71)に、遊技者を撮影するためのテレビカメラ(75)と、遊技場の係員等を映像するためのモニター(76)とを設けたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13または14項記載のゲーム機用の椅子。16 前記フード体(71)内に、ヘッドレスト(81)を装着したことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14または15項記載のゲーム機用の椅子。17 前記フード体(71)に使用者の煙草の煙を吸い取り可能にするための吸気ダクト(82)を備えたことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15または16項記載のゲーム機用の椅子。18 前記ヘッドレスト(81)の枕カバーとしてベーパーフィルタ(83)を用い、該ベーパーフィルタ(83)を枕カバーとして使用可能なカバー状態位置へ繰り出し可能かつ、該カバー状態位置から吸気ダクト(82)のフィルタとして使用可能なフィルタ状態位置へ繰り込み可能に支持したことを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16または17項記載のゲーム機用の椅子。19 前記背凭れ(34)の背面に遊技場の係員が遊技者の背後から操作可能な背面操作盤(91)を装備し、該背面操作盤(91)は灰皿満杯表示部、呼出ランプ消灯用スイッチ、スピーカ音量調整操作部、リクライニングコントロールスイッチ、ゲーム機および玉貸機のロック解除操作部を有することを特徴とする1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17または18項記載のゲーム機用の椅子に存する。

【0009】

【作用】椅子(30)が待機位置にあるとき、着座者はゲーム機(21)を背にして座部(32)に着座し、中心軸回りに座部(32)を回転する。座部(32)の座部(32)面上で、着座者の膝と椅子(30)の背凭れ

(34)(34)との間の距離がほぼ半分になる位置に中心軸を配したので、着座した際に、特に着座者の膝が出っ張ることがなく、座部(32)を前記中心軸を中心にして使用位置側へ回転すれば、着座者の膝が両隣りの遊技者や椅子(30)に当たることがなく、両隣りの遊技者に迷惑をかけないで、ゲーム機(21)に向かって着座することができる。前記待機位置では背凭れ(34)を略垂直な姿勢にして、後方へ傾斜したリクライニング姿勢には傾動不能に支持したもので、不用意に背凭れ(34)をリクライニング姿勢にしたままで、椅子(30)を待機位置から使用位置に回転して、背凭れ(34)が両隣りの遊技者に当たるようなことが防止される。

【0010】前記椅子は肘掛部(36)を備え、該肘掛部(36)にリクライニング用の操作レバー(41)を設けたので、手を無理に伸ばしたりすることなく、簡単にリクライニング用の操作レバー(41)を操作することができる。

【0011】前記肘掛部(36)に、背凭れ(34)をリクライニング姿勢から略垂直な姿勢に傾動し、かつ、前記使用位置から前記待機位置に回転可能にするための信号を発信可能なゲーム終了用のスイッチ(43)を設けたので、遊技者は上体を起こすことなく、楽な姿勢のままで、スイッチ操作することができる。前記椅子に、紙幣識別機およびコイン選別機を設けたので、全て椅子側で操作することができ、遊技者が無理な姿勢で操作する必要がなく、ゲームを楽に進行することができる。前記肘掛部(36)に、パチンコ球その他のゲーム媒体用の発射ハンドル(44)を設けたので、手元に発射ハンドル(44)がより近づくようになり、楽な姿勢で操作することができる。前記肘掛部(36)に、ゲーム進行に支障が発生した際に係員を呼び出すための呼出しランプ付のスイッチ(45)を設けたので、例えば、上体を起こしたりすることなく、リクライニング姿勢のままスイッチ操作することができる。前記肘掛部(36)に、椅子を前記待機位置と前記使用位置とに回転するための回転スイッチ(42)を設けたので、椅子に着座したままで操作することができ、遊技者が無理な姿勢で操作する必要がなく、ゲームを楽に進行することができる。

【0012】前記肘掛部(36)に灰皿(51)を設ける一方、座部の後部下方に吸い殻収納部(52)を設け、前記灰皿(51)の底部と前記吸い殻収納部(52)とを吸い殻挿通用のパイプ部材(53)により連結し、前記吸い殻収納部(52)の後壁に、該吸い殻収納部(52)内と外部とを連通して、掃除機(57)の吸引パイプ(58)を後方から差込み可能な差込口(54)を開設したので、遊技者は係員の清掃作業を気にすることなく、またその清掃作業に邪魔されことなく、快適にゲームを進行することができる。前記灰皿(51)の底部を開閉可能な第1シャッター部材(55)によ

り構成し、第1シャッタ部材(55)を開じ方向へ付勢し、吸い殻をその付勢力に抗して第1シャッタ部材(55)に押し付けた際に第1シャッタ部材(55)が開いて吸い殻を落下可能にしたので、吸い殻が灰皿(51)に溢れることなく、また詰まることなく、次々に押し込むことができ、使い勝手がよい。前記吸い殻収納部(52)に差込口(54)を開閉可能な第2シャッタ部材(56)を設け、第2シャッタ部材(56)を開じ方向へ付勢し、掃除機(57)の吸引パイプ(58)をその付勢力に抗して差込んだ際に第2シャッタ部材(56)が開き可能にしたので、通常では、吸い殻収納部(52)の内部が外部から遮断され、衛生的であるとともに、吸い殻収納部(52)内が外部から見えないので、見栄えが良い。

【0013】前記吸い殻収納部(52)の差込口(54)の周縁に、前記掃除機(57)の吸引パイプ(58)を差込んだ際に該掃除機(57)側のコネクタ(58a)に接続して前記掃除機(57)側に給電するための給電用のコネクタが設けられたので、例えば、係員がわざわざコードをコンセントに接続する必要がなく、簡単に清掃作業ができる。前記椅子(30)にタラップ(61)を設け、該タラップ(61)に、パチンコ球その他のゲーム媒体を発射させるためのフットスイッチ(62)を設けたので、タラップ(61)に足を載せれば、足が疲れにくくなるとともに、フットスイッチ(62)の踏み込み量によって、パチンコ球などの発射速度を加減することができる。背凭れ(34)の上端部に、遊技者の頭部を上方から覆い可能なフード体(71)を備え、該フード体(71)に、音楽、スポーツおよび遊技場からのメッセージを聞くためのスピーカ(72)および遊技場の係員等と対話するためのマイク(73)を設けたので、遊技者は居ながらにして、所望の情報を得ることができ、また、係員は遊技者と個々に対話することができ、他の遊技者は邪魔されずにゲームを進行することができ、また、遊技場内がさらに静かになる。

【0014】前記フード体(71)に、遊技者を撮影するためのテレビカメラ(75)と、遊技場の係員等を映像するためのモニター(76)とを設けたので、係員は遊技者の顔を見ながら、対話することができる。前記フード体(71)内に、ヘッドレスト(81)を装着したので、遊技者はさらに楽な姿勢でゲームを行なうことができる。前記フード体(71)に使用者の煙草の煙を吸い取り可能にするための吸気ダクト(82)を備えたので、煙草の煙が遊技場に散らないで、他の遊技者に迷惑を掛けることがなくなる。前記ヘッドレスト(81)の枕カバーとしてペーパーフィルタ(83)を用い、該ペーパーフィルタ(83)を枕カバーとして使用可能なカバー状態位置へ繰り出し可能かつ、該カバー状態位置から吸気ダクト(82)のフィルタとして使用可能なフィルタ状態位置へ繰り込み可能に支持したので、枕カバー

として使用済みのものをフィルタとして再利用することができ、ペーパーフィルタ(83)を繰り出し繰り込みする簡単な操作で、再利用が可能である。前記背凭れ(34)の背面に遊技場の係員が遊技者の背後から操作可能な背面操作盤(91)を装備し、該背面操作盤(91)は灰皿満杯表示部、呼出ランプ消灯用スイッチ、スピーカ音量調整操作部、リクライニングコントロールスイッチ、ゲーム機および玉貸機のロック解除操作部を有するので、係員が遊技者の横から操作することがなくなり、遊技者の邪魔にならないとともに、係員も遊技者に配慮することなく作業することができる。

【0015】

【実施例】以下、図面に基づき本発明の一実施例を説明する。各図は本発明の一実施例を示している。図1および図2に示すように、遊技場10には遊技島20が設置され、遊技島20の幕板22と天板23との上下間の取付スペースに多数のゲーム機21が連設している。また遊技場10には、各ゲーム機21に対応して、ゲーム機21と同じ間隔でゲーム機用の椅子30がそれぞれ設けられている。各椅子30は遊技場10のフロア12に立設された回転フレーム31と、回転フレーム31に固設される座部32と、座部32の座部フレーム33の後部にはリクライニング機構を介して支持される背凭れ34とから成る。回転フレーム31の回転中心軸36は、椅子30の座部32の座部面上において、着座者の膝と椅子の背凭れ34との間の距離がほぼ半分になる位置に配されている。回転フレーム31の回転中心軸36は、座部32の前後方向の中心より図示した分だけ前位置になる。座部32は、回転フレーム31の中心軸36を中心にして、着座者がゲーム機21を背にして着座する待機位置とゲーム機21に向かって着座する使用位置とに回転可能に支持されている。座部フレーム33の前端部にはタラップ支持アーム38が枢着され、座部フレーム33の後端部にはリクライニング機構のアーム39が枢着されている。両アーム38、39の各上端部で肘掛部37が懸架され、座部フレーム33、両アーム38、39および肘掛部37により、平行リンク機構が構成されている。

【0016】また、前記待機位置においては、背凭れ34を略垂直な姿勢にして、後方へ傾斜したリクライニング姿勢には傾動不能にすべく、リクライニング機構が拘束されている。

【0017】図4に示すように、肘掛部37の外側部には、リクライニング用の操作レバー41が設けられている。肘掛部37の先端部には操作パネルが後方へ倒れた収納位置と前方へ起立した使用位置とに起倒可能に支持され、操作パネルの側部には、背凭れ34をリクライニング姿勢から略垂直な姿勢に傾動し、かつ、前記使用位置から前記待機位置に回転可能にするための信号を発信可能なゲーム終了用のスイッチである精算スイッチ43

が設けられている。また、椅子 30 には、図示省略した紙幣識別機およびコイン選別機が設けられている。肘掛部 37 の操作パネルには、使用位置において遊技者側に向けた後面にパチンコ球用の発射ハンドル 44 が設けられ、操作パネルには、使用位置においては上面になる部位に、ゲーム進行に支障が発生した際に係員を呼び出すための呼出しランプ付のスイッチ 45 が設けられている。同じく、使用位置においては上面になる部位には、呼出しランプ付のスイッチ 45 の両側に取り込みスイッチと止止め表示ランプとが設けられている。また、肘掛部 37 には、椅子 30 を待機位置と使用位置とに回転するための回転スイッチ 42 が設けられている。肘掛部 37 の前位置には灰皿 51 が配設され、座部 32 の後部下方には吸い殻収納部 52 が設けられ、灰皿 51 の底部と吸い殻収納部 52 とが吸い殻挿通用のパイプ部材 53 により連結されている。吸い殻挿通用のパイプ部材 53 は不燃性のパイプ材により成形され、肘掛け内の吸引パイプと座部内吸引パイプとから構成されている。吸い殻収納部 52 の後壁には、吸い殻収納部 52 内と外部とを連通して、掃除機 57 の吸引パイプ 58 を後方から差込み可能な差込口 54 が開設されている。差込口 54 は後方へ向かって斜め上方へ開いている。灰皿 51 の底部は、開閉可能な第 1 シャッタ部材 55 により構成されており、第 1 シャッタ部材 55 は開じ方向すなわち、底部を形成する方向へ付勢されている。吸い殻を第 1 シャッタ部材 55 に押し付けた際に第 1 シャッタ部材 55 が開いて吸い殻を落下可能な程度の付勢力に成っている。灰皿 51 内には、灰皿満杯検出センサ 57a が設けられている。検出手段としては、光り検出や第 1 シャッタ部材 55 にかかる圧力検出が採用されている。

【0018】吸い殻収納部 52 に差込口 54 の奥側の周縁には、差込口 54 を開閉可能な第 2 シャッタ部材 56 が設けられ、第 2 シャッタ部材 56 は開じ方向へ付勢されている。その付勢力は、掃除機 57 の吸引パイプ 58 を差込んだ際に第 2 シャッタ部材 56 が開き可能な程度に成っている。吸い殻収納部 52 の差込口 54 の周縁には、掃除機 57 の吸引パイプ 58 を差込んだ際に掃除機 57 側のコネクタ 58a に接続して掃除機 57 側に給電するための図示省略した給電用のコネクタ 52a が設けられている。吸引パイプ 58 の基端部にはハンドル 59 が固設され、吸引パイプ 58 の先端部には、例えば差込み方向の多少の誤差を吸収するためのフレキシブルパイプ部 58b が一体的に形成されている。タラップ支持アーム 38 の先端部にはタラップ 61 が固着され、タラップ 61 には、踏み込み量に応じてパチンコ球を叩く力を加減可能なフットスイッチ 62 が設けられている。図 3 に示すように、タラップ 61 を設けないものであってもよく、また、フットスイッチはパチンコ島の下部に取り付けてもよい。背凭れ 34 の上端部には、遊技者の頭部を上方から覆い可能なフード体 71 が装備され、フード

体 71 の側部には、音楽、スポーツおよび遊技場からのメッセージを遊技者が選択して聞くためのスピーカ 72 および遊技場の係員等と対話するためのマイク 73 が設けられている。スピーカ 72 は、どこを選択しても遊技場からのメッセージが優先的に聞こえるように構成され、また、他の遊技者に迷惑にならない範囲で音量調整可能に成っている。さらに、スピーカ 72 とマイク 73 とを使用して、呼出しランプ付のスイッチ 45 を押すと、遊技場の係員等と対話可能に構成されている。フード体 71 の上部には、遊技者を撮影するためのテレビカメラ 75 と、遊技場の係員等を映像するためのモニター 76 とが設けられている。モニター 76 は、液晶表示その他の画像表示装置であって、上方へ跳ね上げられて遊技者の視界外に出た不使用位置と下方へ引き下げられて遊技者の視界内に入った使用位置とに揺動可能に支持されている。テレビカメラ 75 とモニター 76 とは、パチンコ島に取り付けてもよい。

【0019】フード体 71 内の後部にはヘッドレスト 81 が装着され、フード体 71 の上部には、使用者の煙草の煙を吸い取り可能にするための吸気ダクト 82 が備えられている。フード体 71 内の後部には、ヘッドレスト 81 を中心にして下方位置にペーパーフィルタ 83 が巻かれた供給ローラ 85 が配され、上方位置に巻き取りローラ 86 が配されている。ペーパーフィルタ 83 はヘッドレスト 81 の枕カバーとして使用可能なカバー状態位置へ供給ローラ 85 から繰り出し可能かつ、カバー状態位置から吸気ダクト 82 のフィルタとして使用可能なフィルタ状態位置へ巻き取りローラ 86 により繰り込み可能に配索されている。背凭れ 34 の背面には、遊技場の係員が遊技者の背後から操作可能な背面操作盤 91 が装備され、背面操作盤 91 には、灰皿満杯表示ランプである灰皿掃除ランプ 92 その他の各種の表示ランプ、呼出ランプの消灯用スイッチ、スピーカの音量調整操作レバー、リクライニングコントロールスイッチ、各種のテストスイッチ、ゲーム機および玉貸機のロック解除操作部が配置されている。ロック解除操作部はキースイッチであるが、キーの他に磁気カードにより操作してもよい。背面操作盤 91 内には各種表示部を制御するためのコントローラ 94 が設けられ、また、灰皿掃除ランプ 92 はパチンコ島の表示装置に配してもよい。

【0020】次に作用を説明する。椅子 30 が待機位置にあるとき、着座者はゲーム機 21 を背にして座部 32 に着座し、遊技を開始すべく、回転フレーム 31 の中心軸 36 回りに座部 32 を使用位置側へ回転する。座部 32 の座部 32 面上で、着座者の膝と椅子 30 の背凭れ 34 との間の距離がほぼ半分になる位置に回転フレーム 31 の中心軸 36 を配したので、着座した際に、特に着座者の膝が出張ることがなく、座部 32 を前記中心軸 36 を中心にして使用位置側へ回転すれば、着座者の膝が両隣りの遊技者や椅子 30 に当たることがなく、両隣り

の遊技者に迷惑をかけないで、ゲーム機21に向かって着座することができる。回転スイッチ42により椅子30を使用位置へ回転すると、椅子30は自動停止し、リクライニング用の操作レバー41によって、リクライニング姿勢に傾動可能になるが、回転中は略垂直な姿勢に拘束され、他の遊技者に当たらないで迷惑をかけることがない。

【0021】また、精算スイッチ43を操作すると、背凭れ34はリクライニング姿勢から略垂直な姿勢に傾動するようになり、同じく、他の遊技者に迷惑をかけることなく、回転スイッチ42により待機位置に回転する。また、遊技者自身はカードをもって、そのまま椅子30から立って景品場に向かうことができる。椅子30に、紙幣識別機およびコイン選別機を設ければ、全て椅子側で操作することができ、遊技者が無理な姿勢で操作する必要がなく、ゲームを楽に進行することができる。紙幣識別機およびコイン選別機がゲーム機21の横の玉貸機に取り付けられているものでは、この場合には、遊技者が状態を起こすような姿勢になる。操作パネルの払出スイッチを押すと、1000円分の玉が払出され、残金表示器から1000円分の表示が減算されて再表示される。椅子30が使用位置にあるとき、遊技者がリクライニング用の操作レバー41を操作すると、操作パネルが自動的に起立して、手元に発射ハンドル44がより近づくようになり、そのまま、楽な姿勢で操作することができる、ゲームを進行することができる。

【0022】残金表示がゼロの場合には、払出しは行なわれず、再度現金投入を要す。また、持玉表示器には持玉数の表示があるが、皿内の玉が無くなってしまった場合、払出スイッチを押すと、残金表示器の表示からでなく、持玉表示器の持玉数から減算表示しながら払出され、持玉表示器の表示がゼロになるまで続行可能である。持玉表示器の表示がゼロになり、払出スイッチを押し、再度払出スイッチを押すと、今度は残金表示器に表示されている数字から1000円分の玉が払い出され、表示からは1000円分が減算表示される。ゲーム途中で打ち止めが発生すると、操作パネルに設けられた打止め表示ランプが点灯あるいは点滅する。ゲーム進行に支障が発生した場合には、操作パネルに設けられた呼出しランプ付のスイッチ45を操作すればよく、遊技者は上体を起こしたりすることなく、リクライニング姿勢のままスイッチ操作することができる。ゲームを終了する際に、残金表示と、持玉表示がゼロ以外の表示になっており、皿に玉がある場合、精算スイッチ43を押すと、玉皿内の玉が持ち玉計数機に自動的に流され、持玉表示を加算表示する。玉皿に玉がなかった場合にはこの動作は省かれる。持ち玉表示を加算表示し終ると、残金表示と持ち玉表示されたデータがカード処理機に送られ、リサイクルカードにデータが書入れ払い出される。

【0023】残金表示がゼロで、持ち玉表示がゼロ以外

の表示になっており、皿に玉がある場合、精算スイッチ43を押すと、玉皿内の玉が持ち玉計数機に自動的に流され、持ち玉表示を加算表示する。玉皿に玉がなかった場合にはこの動作は省かれる。持ち玉表示を加算表示し終ると、持ち玉表示されたデータがカード処理機に送られ、リサイクルカードにデータが書入れ払い出される。残金はゼロと記入される。残金表示がゼロ以外の表示に成っており、持玉表示がゼロで、玉皿に玉がある場合、精算スイッチ43を押すと、玉皿内の玉が持ち玉計数機に自動的に流され、持玉表示を加算表示する。持玉表示を加算し終ると、残金表示と持ち玉表示されたデータがカード処理機に送られ、リサイクルカードにデータが書き込まれ払い出される。玉皿に玉がなかった場合には、持玉表示はゼロのままなので、リサイクルカードには残金が記入され、持玉はゼロと記入される。残金表示も持玉表示もゼロ表示となっており、玉皿にも玉が内場合は、アードの払出も行なわれず、そのまま終了になる。

【0024】この作業中に、背凭れ34が自動的に略垂直な姿勢に戻る。回転スイッチ42を押すと、椅子30はゆっくりと回転して、ゲーム機21に背を向けた待機位置で停止する。灰皿51内の吸い殻を回収するには、係員が掃除機57の吸引パイプ58を吸い殻収納部52の差込口54に差込むようにする。それにより、第2シャッタ部材56が不勢力に抗して開くようになり、掃除機57の吸引パイプ58と吸い殻収納部52とが連通する。このとき、掃除機57の吸引パイプ58を後方から差込み可能な差込口54を開設したので、遊技者は係員の清掃作業を気にすることなく、また、その清掃作業に邪魔されることなく、快適にゲームを進行することができる。係員が掃除機57の吸引パイプ58を吸い殻収納部52の差込口54に差込むと、掃除機57側のコネクタ58aと吸い殻収納部52側のコネクタ52aとが接続され、例えば、係員がわざわざコードをコンセントに接続する必要がない。掃除機57の電源を入れると、掃除機57の吸引パイプ58内および吸い殻挿通用のパイプ部材53内は減圧され、第1シャッタ部材55が付勢力に抗して開き、灰皿51内の吸い殻や灰は完全に掃除機57の内に吸い取られる。この吸引動作は、ほとんど一瞬に行なわれ、遊技者はいつ行なわれたのか分からない。また、吸い殻や灰が散らかることもない。

【0025】一方、係員にとっては、掃除機57の吸引パイプ58の抜き差し操作と電源入切り操作だけすればよく、簡単に清掃作業ができる。

【0026】灰皿51が一杯になっても、遊技者が吸い殻を押し込むようにすると、付勢力に抗して第1シャッタ部材55が開いて、吸い殻挿通用のパイプ部材53を通して落下し、吸い殻が灰皿51に溢れることなく、また詰まることなく、次々に押し込むことができ、使い勝手がよい。また、通常では、第2シャッタ部材56は閉じていて、吸い殻収納部52の内部が外部から遮断さ

れ、衛生的であるとともに、吸い殻収納部52内が外部から見えないので、見栄えが良い。椅子30にタラップ61を設け、該タラップ61に、パチンコ球その他のゲーム媒体用のフットスイッチ62を設けたので、タラップ61に足を載せれば、足が疲れにくくなるとともに、フットスイッチ62の踏み込み量によって、パチンコ球などの発射速度を加減することができる。

【0027】背凭れ34の上端部に、遊技者の頭部を上方から覆い可能なフード体71を備え、該フード体71に、音楽、スポーツおよび遊技場からのメッセージを聞くためのスピーカ72および遊技場の係員等と対話するためのマイク73を設けたので、遊技者は居ながらにして、所望の情報を得ることができ、また、スピーカ72とマイク73とを使用すれば、係員は遊技者と個々に対話することができ、他の遊技者は邪魔されずにゲームを進行することができ、また、遊技場内がさらに静かになる。フード体71に、遊技者を撮影するためのテレビカメラ75と、遊技場の係員等を映像するためのモニター76とを使用すれば、係員は遊技者の顔を見ながら、対話することができる。フード体71内に、ヘッドレスト81を装着したので、遊技者はさらに楽な姿勢でゲームを行なうことができる。また、吸気ダクト82によって、遊技者の煙草の煙が吸い取られるため、煙草の煙が遊技場に散らないで、他の遊技者に迷惑を掛けることがなくなる。ヘッドレスト81の枕カバーとして、吸気ダクト82のフィルタとなるペーパーフィルタ83を用いたので、枕カバーとして使用済みのものをフィルタとして再利用することができ、経済的であり、枕カバーが未使用の状態になり、衛生的である。巻き取りローラ86によりペーパーフィルタ83を巻き取ると、ペーパーフィルタ83が枕カバーとして使用可能なカバー状態位置へ繰り出され、さらに、ペーパーフィルタ83を巻き取ると、カバー状態位置から吸気ダクト82のフィルタとして使用可能なフィルタ状態位置へ繰り込まれるようになる。繰り出し繰り込み操作も簡単である。

【0028】前記背凭れ34の背面に遊技場の係員が遊技者の背後から操作可能な背面操作盤91を装備し、背面操作盤91の灰皿掃除ランプ92その他の各種の表示ランプ、呼出ランプの消灯用スイッチ、スピーカの音量調整操作レバー、リクライニングコントロールスイッチ、各種のテストスイッチ、ゲーム機および玉貸機のロック解除操作部を操作する際に、係員が遊技者の横から操作することがなくなり、遊技者の邪魔にならないとともに、係員も遊技者に配慮することなく作業することができる。なお、前記実施例においては、座部32が付勢される方向を特に示してないが、待機位置側へ回転する方向へ付勢すれば、使用されていない座部32は全て待機位置に揃うようになり、遊技者が即座に座ることがで

き、また、美観を向上することができる。また、図9に示すように、肘掛部37には、ボリュームレバー47および選曲用のスイッチ48を設けてもよい。

【0029】

【発明の効果】本発明にかかるゲーム機用の椅子によれば、座部の座部面上で、着座者の膝と椅子の背凭れとの間の距離がほぼ半分になる位置に中心軸を配し、着座した際に、特に着座者の膝が出っ張ることがないようにしたので、着座者が待機位置にある座部に着座し、中心軸回りに座部を使用位置側へ回転すれば、着座者の膝が両隣りの遊技者や椅子に当たることがなく、両隣りの遊技者に迷惑をかけないで、ゲーム機に向かって着座することができ、使い勝手をよくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の待機位置における側面図である。

【図2】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の使用位置における側面図である。

【図3】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の使用位置における側面図である。

【図4】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の肘掛部の斜視図である。

【図5】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の使用位置における側面図である。

【図6】本発明の一実施例を示す掃除機の斜視図である。

【図7】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の使用位置における側面図である。

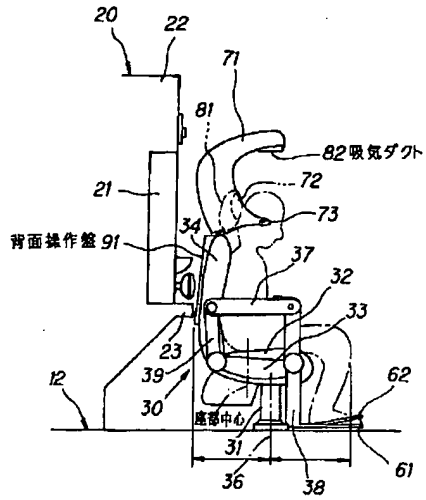
【図8】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の使用位置における背面図である。

【図9】本発明の一実施例を示すゲーム機用の椅子の肘掛部の斜視図である。

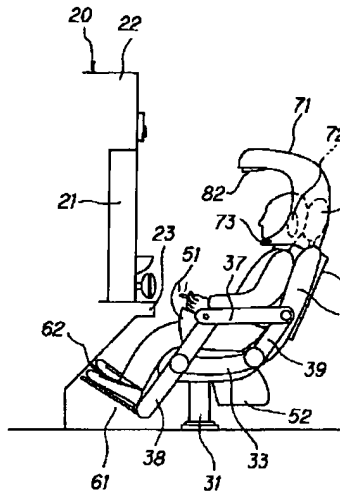
【符号の説明】

- 10…遊技場
- 20…遊技島
- 21…ゲーム機
- 30…椅子
- 32…座部
- 34…背凭れ
- 42…回転スイッチ
- 43…精算スイッチ（ゲーム終了用のスイッチ）
- 51…灰皿
- 61…タラップ
- 62…フットスイッチ
- 71…フード体
- 81…ヘッドレスト
- 83…ペーパーフィルタ
- 91…背面操作盤

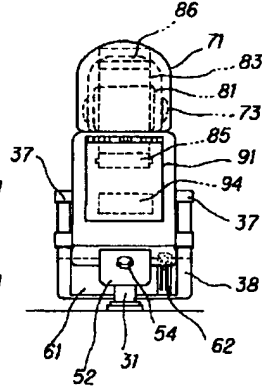
【図1】



【図2】



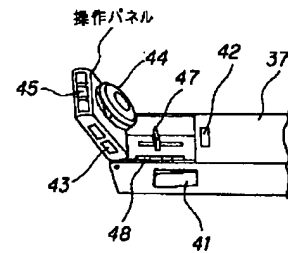
【図8】



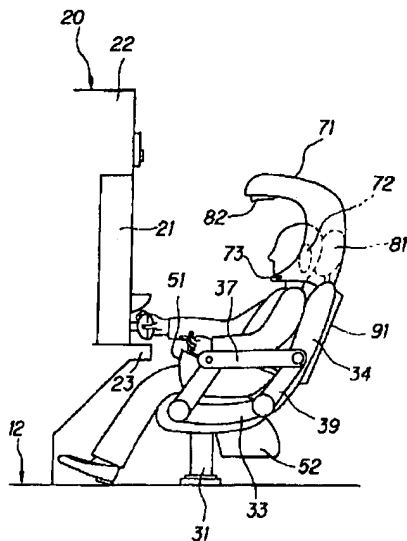
- | | |
|------------|-------------|
| 20: 遊技島 | 37: 肘掛部 |
| 21: ゲーム機 | 61: フットスイッチ |
| 30: 椅子 | 71: フード体 |
| 31: 回転フレーム | 72: スピーカ |
| 32: 座部 | 73: マイク |
| 34: 背凭れ | 81: ヘッドレスト |
| 36: 回転軸 | |

【図9】

図9

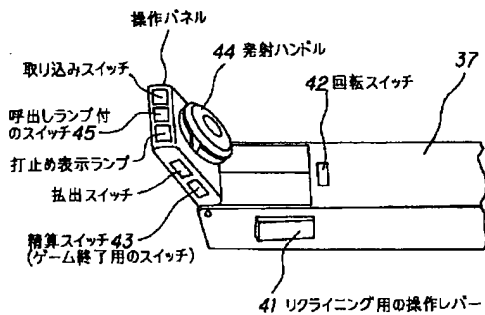


【図3】



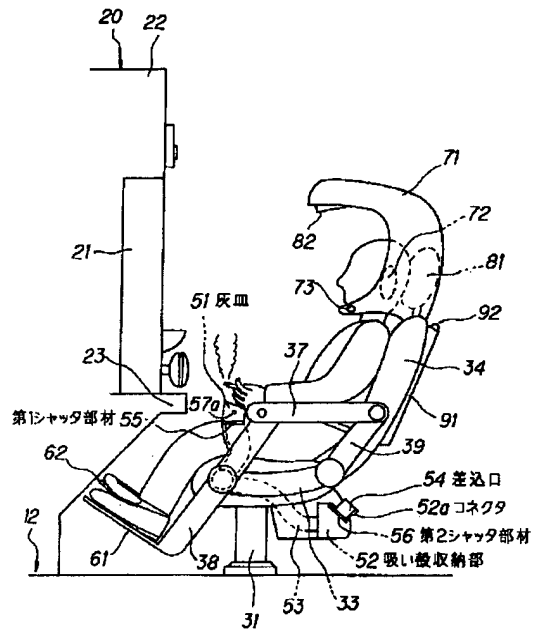
【図4】

図4



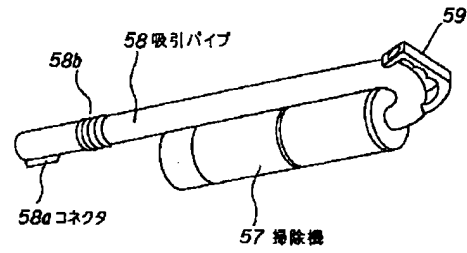
【図5】

図5



【図6】

図6



【図7】

図7

